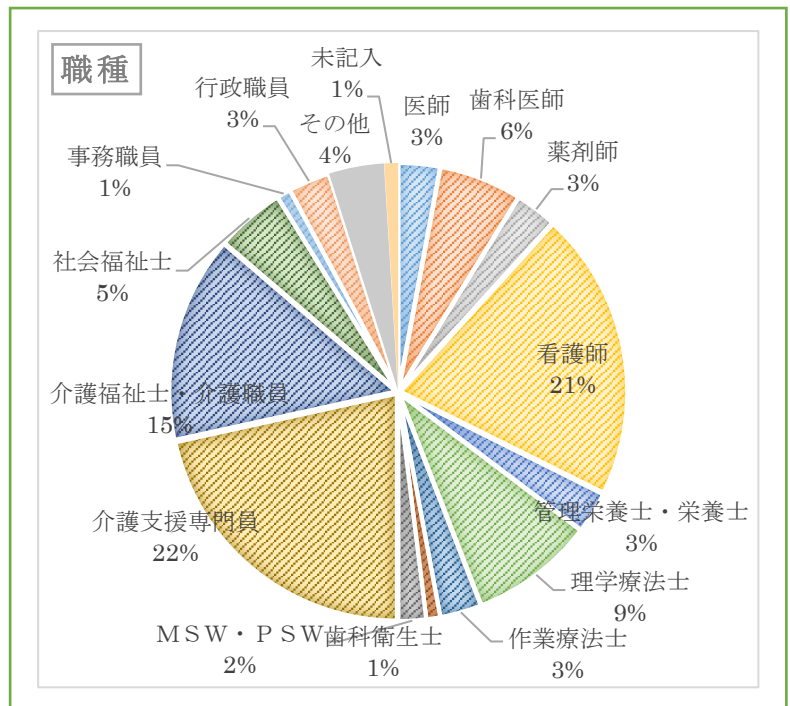


第4回 いなべ在宅医療・介護連携研究会 アンケート(H31.1.18)

アンケート回収 101名

問1 職種についてお聞かせください。

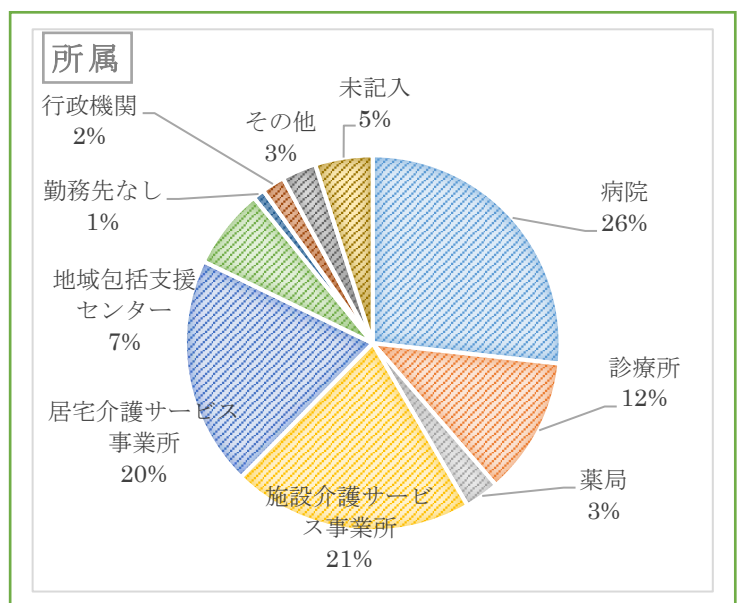
職 種	人 数
医師	3 名
歯科医師	6 名
薬剤師	3 名
看護師	21 名
管理栄養士・栄養士	3 名
理学療法士	9 名
作業療法士	3 名
歯科衛生士	1 名
MSW・PSW	2 名
介護支援専門員	22 名
介護福祉士・介護職員	15 名
社会福祉士	5 名
事務職員	1 名
行政職員	3 名
その他	4 名
未記入	1 名



※ 上記の内、「介護支援専門員・介護福祉士」の重複が各 1 名あり

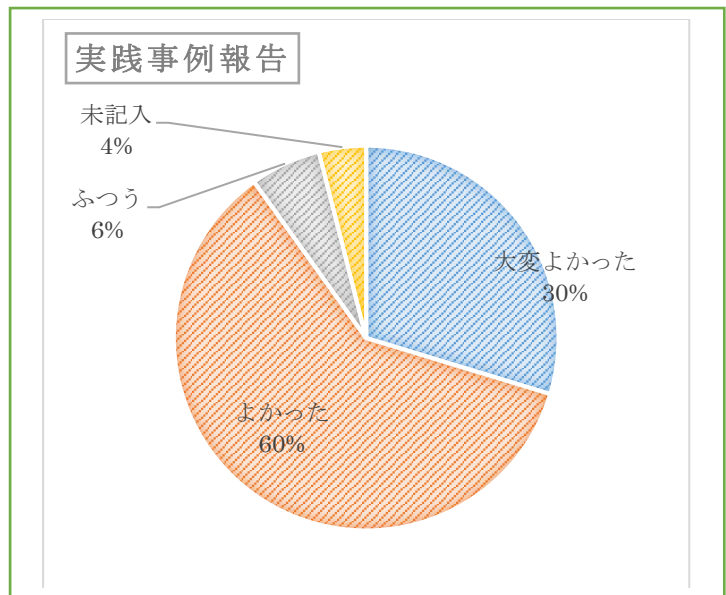
問2 所属をお聞かせください。

所 属	人 数
病院	27 名
診療所	12 名
薬局	3 名
施設介護サービス事業所	21 名
居宅介護サービス事業所	20 名
地域包括支援センター	7 名
今は勤務していない	1 名
行政機関	2 名
その他	3 名
未記入	5 名



問3 実践事例報告はいかがでしたか。

	人数
大変よかった	30名
よかった	61名
ふつう	6名
未記入	4名



アイリスさんでの取り組みが分かりやすかったです。

アイリスさんの姿勢がよくわかり、親近感を覚えた。うまくいかなかった事例の振り返りがあり、良かったです。

個人に対して各職種が適切なアセスを行っていても、関わる者たちが情報を共有していなければ、連携は上手いかないということが再確認できよかった。

取り組みはうまくいっているので、難しい理論を持ち出して、わざわざ反省点を見つけなくてもよいと思います。

失敗例もあってよかった。報告後、すぐに意見交換会が始まるが、質疑応答の時間もあっていいのではないかと思います。

特養での対応や連携の方法がわかりやすかったです。

私たちにはわからない事、知らない事をたくさん知れた。

特養さんの実情を知る機会はあまりなく良い機会となりました。

本人の思いや家族の思いを考慮して目標に向けて取り組まれていることが良くわかった。

特養での具体的な取り組みが理解できた。

発表させて頂いたが、すごく緊張しました。資料作成について色々振り返れるいい機会になったと思う。

施設での取り組みが聞いて良かった。いろいろと取り組まれていることが分かった。

うまくいかなかった例、うまくいった例と別に考察がされており、わかりやすかったです。家族様との連携の大切さを改めて勉強できました。

各専門職がそれぞれの立場でアセスメントし、利用者さんの望みをかなえることに取り組まれ、うまく連携できたと思います。

うまくいった例ばかりでなく、うまくいかなかった事例の発表があったところがよかった。

アイリスの連携や協働を改めてわかった。

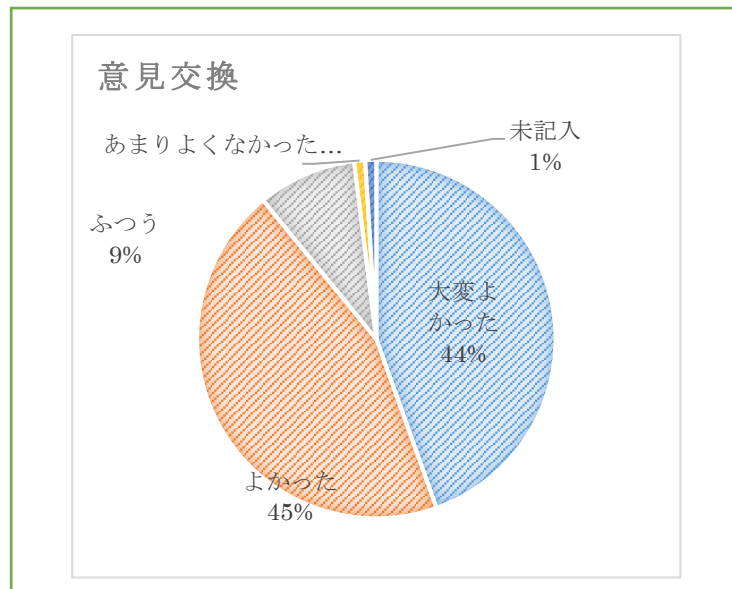
成功事例・失敗事例・反省点を洗い出し、今後の改善に向けて取り組んでいく考えが良く分かった。

一連の流れがわかり易く振り返りがあったので、こうしていれば良かったというのが分かり、勉強になりました。

他職種間、ご家族様、ご本人様とのコミュニケーション、ニーズの共有など、しっかり情報共有し、その実現に向けてケアをしていく大切さを学んだ。
ほとんど関わることがない特養の中で行われている支援を具体的に知ることができました。
わかりやすく説明があつてよかったです。
他の施設の取り組みが具体的にわかってよかった。
実際の施設内における実務について知ることができた。
アイリスさんの患者さんへのやさしい気持ちに感動した
特養での多職種の連携が良く分かりました。
遅刻してきけませんでした。
わかりやすかった。施設内での連携がとれていると思った。
失敗事例もみれた所
本人の希望を最大限事業所全体でかなえようとそれぞれの職種の強みを発揮していたことが良かった。
今後の課題を話し合う事で更に良いケアを目指す姿勢が見えた。
大変参考になりました。
実践事例と振り返りの両方を聞いて勉強になった。
良かった事例だけでなく、できなかった事例の振り返りの発表があつたところ。
医療関係・在宅・施設の職員さんの普段のいろいろな思い等が聞いてよかったです。
アイリスでの取り組みが良く理解できた。
今後につながりました。
他施設での活動がわかり良かったです。
アイリスさんでの中での連携→協働がよく伝わってきました。
連携の重要性や課題が明確であった。
事例を通してアイリスの役割がよくわかった。
成功例だけでなく失敗例も教えていただき、アセスメント等の考える視野の範囲がひろがりました。
実践事例の流れがわかりやすかったです。
事例に対して多面的に捉えられており、私自身の視野の広がりと思考の深まりを得ることができました。
施設でも外出支援されている。嬉しいです。施設も悪くない。
施設内での連携の例が具体的に知れ、勉強になりました。

問4 意見交換はいかがでしたか？

	人数
大変よかった	45名
よかった	45名
ふつう	9名
あまりよくなかった	1名
未記入	1名



個々の事業について活発な意見がありよかった。

相変わらずテーマが抽象的すぎて盛り上がらない。メンバー間で仲良くなることは良いことだが、このようなテーマを皆で論じることが、意味があるのか良く分からない。

色々な意見が聞けてよかったが、話をして終わっている印象もあるので、他のグループはどんな意見があったか知れたら良いのではないかと思います。

いろんな立場から意見が聞けた。

話しやすく、たくさん意見がでたと思います。

自分の所だけじゃなく、他の事も知ることができた。

今まで「連携・協働」について具体的に考えたことがなく、良い機会になった。

他職種との意見交換はとても良いと思います。強化してほしいコーナーです。

他職種の考えがわかる機会であった。

意見交換の時間はちょうど良かったと思われま。

様々な職種の方と顔をみて話すことができとてもよかったです。

連携は個々の情報を共有・連絡することで、協働とは同じ方向に向けて、1つの目標にむかっていく。連携あつての協働という意見が出て、とても参考になりました。

テーマが難しかったが、幅広い話題で意見交換できた。

他の施設の連携や協働の仕方などを知れた。

「連携」「協働」の定義について考え方を共有できたことは有意義であった。

連携・協働とは、と考えると難しいと感じた。

はじめて聞く職種の方と面識が持て、医療側の連携についても、学ぶことが出来ました。

他職種の方と交流し、連携についての考えがきけてよかった。

連携と協働がよくわかった意見交換となりました。話し合うことは本当に良い事だと思います。

連携・協働の意味をまだ理解出来ていなかったが、本日ですいぶん理解が進んだと思う。

困ったことが、他職種いろいろあることがわかり、大変参考になった。

他職種の活動や思いを聞くだけでも勉強になった。

いろいろな職種の方と話しができ、顔のみえる関係が作れた。
皆様のご意見が出やすくなったと思います。歯科医、医師とのコミュニケーションもとりやすくなりました。アドバイスもいただきました。
時間が少ない。テーマがわかりづらいところがあるし、司会者がいた方が進めやすい。
テーマから少しずれた話になってしまった
他職種の方々と話しができ、連携についての困りごとが聞けてよかったです。
1つのテーマから専門職の意見がきけた。
他施設の状況を知ることが出来た。医療関係の利用することの大切さがわかった。
他の方たちの連携の考え方がそれぞれ違うことが聞けてよかったですと思います。どういことが、連携、協働したらいいかが、なんとなくわかりました。
グループの人数が少なくてなかなか話しがふくらまないかと思っていたが、思ったよりも話しが盛り上がりよかったです。
伊藤先生から桑名市の歯科医の話しを聞くことができて良かった。
改めて連携の大切さを感じ、他職種との連携も大事だが、職場内での連携も大事だということを強く思う事ができました。
たくさんの方と話すことができ、色々な思いをきけた。
各々の立場での意見が聞けた。
連携・協働について話し合うことができた
他職種の意見(良い所、悪い所)が聞けた。
普段他事業所との関わりが限られているので、いろいろな事業所・職種の意見・考え方が聞けて・知ることができてよかったです。
医療側の考え方、居宅、ケアマネ、家族との関わり方について専門職ばかりが連携するのではなく、本人・家族の思い・希望もきちんと聞き取った上での支援が大切だと改めて考えさせられた。
時間が少なかった。
色々の職場の立場から意見がきけてよかったです。
違う職種の方と様々な意見が聞けた事が勉強になりました。
同じ組織の中では、連携しやすいが、他の組織に関わるのは難しいかも。
他職種の異なった視点を知れた。
むずかしい課題でそれにあった話し合いがもてたのか…
日常の仕事場でなかなかお会いできない職種の方とお話ができ、求められているもの、他職種の方に頼るべきところがわかり、連携をよい一層進めていく必要があると思いました。
他の事業所の方と話しをしたことで、同じ悩みを抱えていることを知ることができ、解決策を話し合えたので、よかったですと思います。
実践されている方がそれぞれ意見を述べられた。
それぞれの専門家が、何を大切に、どのように考えられているのか、生の意見が聞けるとても貴重な時間になっています。
内容が違ったかもしれませんが、連携には良かったと思います。
毎回連携について意見交換しているが、会として具体的にどういことを「連携」として定義して目指しているのか、教えてほしい。顔の見える関係とは、どうい関係をいうのか。

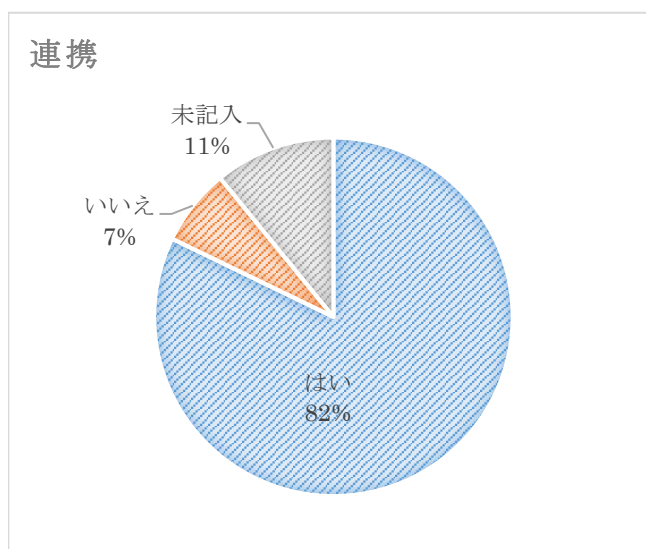
問5 他施設(事業所)の他職種・同職種へのご質問、ご意見・ご要望等お聞かせください。

連携できなくて、困ったことを、具体的に聞いてみたい。
管理栄養士さんや歯科衛生士さん、病院やクリニックに所属しているため、直接依頼することはできない。
連携のためにも職種ごとの仕事内容を詳しく知りたい。
正確な情報から連携が始まる
他の職種の人と話しができて楽しかったです。
今後も他の職種の方とお話し、一人の患者様に対して、よりよいサービスを提供させていただきたいです。

問6 多職種連携『異なる職種(他職種)や職場の違う同職種との連携』についてお尋ねします。

(1) 本研究会に参加することで、連携は進んだと感じますか。

	人数
はい	83名
いいえ	7名
未記入	11名

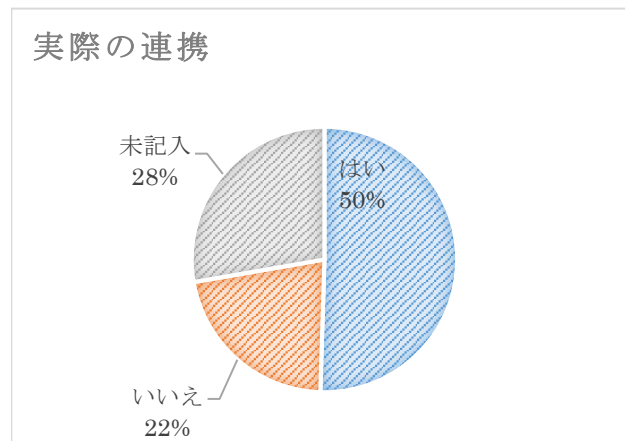


① 具体的にどのようなところが進んだと感じますか？

顔の見える関係が築けた。
多職種や他の地区の医師、歯科医師と面識ができる
普段の仕事では話すことが出来ない職種の方から新しい情報が手に入るから。
それぞれの職種の強みと顔の見える関係が構築できる。
顔見知りになることで、相談や話しができるようになることで連携が進むと感じます。
はじめて顔をみる人とも話すことができ、実際に必要なときにお会いすると話しやすくなった。
まずは相手(他職種の働き・考え)を知ることが少しずつできてきたため。

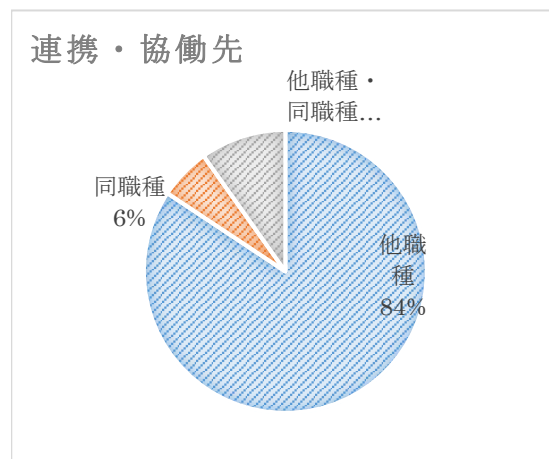
② 実際に連絡を取り合った、又、連絡して取り組んだ人・施設(事業所)はありますか？

	人数
はい	51名
いいえ	22名
未記入	28名



③ 「はい」と答えた方、どのような方と連携・連絡をしましたか？

	人数
他職種	43名
同職種	3名
他職種・同職種	5名



④ 「はい」と答えた方は、どのような連携・連絡を取りましたか？

難病の方、担当した事がなく不安がいっぱいでしたが、いろいろな職種の方と相談・検討を何度も行い、本人の望む生活をする事ができた。
在宅へ帰りどのような生活に気をつければよいか…と話し合いがより細かく出来た時に。
患者(介護)の基本的情報等で他科での治療状態が連携できたこと。
ご利用者様の在宅での環境整備など、PTさんと連絡を取ることがありました。
ケアマネージャー、お客様宅に訪問した時に、変化があったことなどを報告する。
同時に訪問することで、小さい担当者会議のようになり、新しい次のステップを上げることができた事。
初回のサマリー、家族情報
ケアプランを送付してもらい、本人や家族の意見や考えもわかる。
顔のみえる関係になり連絡が取りやすくなった。
訪問口腔ケアステーション桑員を通じて訪問依頼を頂くのが通常ですが、直接依頼にみえたり、訪問先で別の方のケアを頼まれたりなど、我々でいう連携はこういった程度になります。
Drとの連携を行った→どんぐり診療所
利用者の相談を
看護師・薬剤師・ケアマネ・MSW

ゴール設定について
利用者から「入れ歯を作りなおしたいが、受診ができない」との相談のもと、研修会で情報をもらい、電話にて相談し、往診が決まり、その後通院されている。
連携システムなど、連絡のやりとりをしている。
名刺交換、口腔ケアなどのご案内させていただきました。

(2) 連絡・連携を取りやすくするための方法について、ご提案・ご意見をお書きください。

ノートを事業者ごとだけでなく、一冊にして、家族も書いて頂く。
お互いが知り合うこと。お互いの職種を尊敬し、尊重すること、また、各々がプライドをもって働くこと。自分自身も各々の知識・技術など向上させること。
施設所属ですが、退院後、施設入所を検討する利用者さんについて、どのような情報がなのか、具体的に病院先に伝えるか等。情報をもっと共有する事でもっと受け入れが可能になるのではないかと思います。
短時間では連携はとれない。
患者を中心にCMが入院中でも、どんどん介入してほしい。
ケアマネは看護師や病院関係に入っていくのが、少し怖い部分もあります。こういう研究会に参加することで苦手意識をなくしたいです。
ICTの導入・現場へ足を運ぶ
普段は他職種の方と担当者会議でしか、お会いできないため、このような研究会の開催はありがたいです。
顔を合わせる機会を増やす。各事業所への挨拶を直接しに行く。
専門家の連絡先など公に案内する。
家族とのつながりが大切。中に入りこむこと大切。
本会議の継続実施。
連携システムの普及。ゲーム大会。
メール等でのやりとりが、一番良い
他事業所の同職種の会があれば良いと感じる。
何のための連携か、誰のための連携か、常に確認しながら、進めていく必要がある。

問7 本研究会へのご意見・ご要望等お聞かせください。

グループ討論のテーマの投げかけが大きすぎて、話し合いが進みにくかったように感じます。もう少し具体的なテーマをいくつか挙げてもらうと意見が出やすいように思いました。
日頃思っている事柄の相談が出来ることは、とても励みになります。
幅広く情報が得られるような研究会であってほしい。あまりかたよりにないように。
テーマを話しやすい内容にしてほしい。
この様な会はどの位のスパンで行っているのですか？短時間でも頻回な取り組みが必要。この様な場は高齢者を持つ家族にも参加してもらうことが必要。
「もの忘れ外来」の患者の依頼
また参加し、考える視野をひろげていきたいです。
準備から運営までおつかれさまです。とても実りの多いすてきな会議に参加できてありがたいです。